

---

# 死神さんと少女の1年

呉羽

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

死神さんと少女の1年

### 【Zマーク】

N5137D

### 【作者名】

吳羽

### 【あらすじ】

皆、死神だよ。これからもよろしく。

## 第1話

「んにちわー！城島恵梨でーす。

5年2組のじく普通の小学生。

だけど、ある日から死神になつた。

はーい！魂回収。

死神になつたのは、事故で死んじやたからなの。

でも、生きていた頃の記憶はないの。

もしもその記憶を全部思いだしたり・・・幽霊になるの。

皆に私たち死神は、見えない。

今度1年後に死ぬ人の魂を回収に来た。

その子は、まだ、11歳なの。

名前は、長嶋梨奈。

まだ、若いのにね。

その子の家に行くか。

ここがあー。

入ろう。

「あなた誰？」

私、見えるの？

「うん」

なんで

「誰？」

死神だよ。

「え？」

「死神さん私に用？」

うん

「何？」

あなたの魂を回収しに来た。

「私、今日死ぬの？」  
いいえ1年後よ。

「あと1年」

ねえ、死神さん。  
何？

## 第2話

「私・・・死ぬ前に、小説家になりたい。」  
わかつた、あなたを19歳の体にする、だから、これ、飲んで。  
「うん。」「うわ〜!!!」  
「何これ!!本当に・・・19歳に、なつてる!!!。」  
当たり前じやない!誰だと思うのよ!!死神よ。  
「ありがとう死神さん、死神さんって、優しいんですね。」  
違うわよ、だつて悔いのないようにならないといけないの。  
「へえ〜。」  
あと・・・私前人間だつたからね  
「死神さん人間だつたんだ~なんで、死神になつたの?」  
知らないわよ。  
「なんで?」  
なんでも、もう良いでしょ  
「聞きたかつたな」  
ごめん・・・思い出すと、幽霊になつてしまつ  
「そ・そうがあー」しちもじめん  
分かれば良いよ  
「じゃあ小説書きますか!」  
頑張つて  
「うん、頑張るよ」  
原稿用紙取つてくるよ  
「えつ!良いの?ありがとう」  
良いよ・・・はい  
「書くよ~」  
「私は・・・です・・・。」 小説  
良いんじやない・・・。

「やつた」

「田代、できるなんつひす」「よ、私は、1週間かかったの。」

「えつ？やつたことあるの？」

分かんない今、やつたことある感じがして・・・。

「やうなの？」

うん

「でも、これえりつよひ、書いたけど・・・。」

出せば恥じでしょ？

「出せって言われたって・・・。」

ああ～出せとしないのね

「うん・・・えりつよひ」

探せば良いんだよ

「探すつて、できるの？12歳の私が」

今あなたは19歳なのよ

「あつ！やつでした」

なぜにいきなり敬語？

「気にしない、気にしない。」

じゃあ探しに行ひつか！

「おーひ」

長い間、「みんなさい  
すこめせんでした。」



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5137d/>

---

死神さんと少女の1年

2010年10月15日08時10分発行